

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間				
		項目	細目	詳細						
1	大下 博隆	1	小学校夏期休業中の子育て政策について	(1) 学校プール開放について 昨年に行われなかった夏期休業中のプール開放について、今年 は、他市ではプール開放が行われなかったとの報道もある中、市 内全域的にプール開放が行われた。 ア 監視員不足の声が多くあるが、どのように監視員を集められ たのか伺う。 イ 水に浸かるとはいえ、熱中症のリスクにはどのような対策を 行っているか伺う。	市 副市長 市 教育 担当部長	35分				
				(2) いきいき子どもクラブでの昼食について 共働きのご家庭など、多くのご家庭での需要に込えているいきい き子どもクラブにおいて、今年も子供が夏休みに入り、毎日のお 弁当準備に対する課題について、様々な意見を市民の方から 伺っている。 ア 昨年、昼食の弁当配達の件に関し、他市の実施状況も踏ま え研究していくとのご答弁を頂いたが、その後どのような状 況になっているか伺う。						
				2			農業政策について	(1) 補助金の実施状況について 今年度から始まった園芸作物に関する補助金の実施状況等につ いて伺う。 ア 環境制御装置導入支援の実施状況について伺う。 イ なす産地強化支援の実施状況について伺う。		
								3	東広島運動公園について	(1) ゲートボール場について 東広島運動公園にはゲートボール場も整備されているが、現在 使用されていない状況にある。有効活用をしてはどうか。 ア 現在のゲートボール場の状態についてどのように把握して おられるか伺う。 イ ゲートボール場の今後の活用について、どのように考えてお られるか伺う。
										(2) 入り口付近の看板について 国道375号からの東広島運動公園の入り口付近にある約30年前 のアジア競技大会時に設置された「ポップ」と「クック」の看板につ いて伺う。 ア 設置からかなりの年月が経過しており、老朽化が見られる が、安全面からの今後の対策について伺う。

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
2	田坂 武文	1	公共施設の適正な管理について		市副市長 教育長 担当部長	35分	
			(1)	第2次東広島市公共施設等総合管理計画について 公共施設の老朽化が進行する中、今後、人口減少等により厳しい財政状況や公共施設等の利用需要が変化することが予測されている。長期的な視点で更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の適正な配置が必要となっている。			
			ア	第2次東広島市公共施設等総合管理計画の進捗状況について伺う。			
			イ	第2次東広島市公共施設等総合管理計画の見直しの必要性について伺う。			
			ウ	個別施設計画について、見直しが必要なものがあると考えますが、このことについて、所見を伺う。			
エ	第2次東広島市公共施設等総合管理計画と東広島市中央生涯学習センター跡地等の活用基本計画の関連について伺う。						

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
3	中曾 久勝	1		八本松スマートインター供用開始後の周辺地域における交通量の変化並びにそれに伴う交通安全対策について	市副市長 教育長 担当部局長	35分	
				(1) 供用開始後の周辺地域における交通量の変化について 2026年度末の供用開始を市として要望されている八本松スマートインターですが、供用開始に伴い、周辺道路では交通量が増加することが見込まれます。			
				ア 先ず、八本松スマートインターの工事の進捗状況を教えてください。			
				イ 八本松スマートインター供用開始に伴い、周辺地域の交通量が増加することは必然ですが、1日の増加量の見込みについて、また、スマートインターに接続する道路でどの道がどのくらい交通量が増える見込みなのか教えてください。 安芸バイパスの開業に伴い、些少ではありますが、周辺道路の渋滞が通勤時間を中心に延伸しました。スマートインター利用開始後も渋滞が延伸する箇所があると危惧しておりますが、本市のご認識を教えてください。			
				(2) 供用開始後の周辺地域における交通量の変化に伴う交通安全対策について スマートインターの供用開始後、交通量の増加により、周辺道路では、より一層の交通安全対策が必要となるものと考えます。			
				ア 接続道である県道350号造賀八本松線で歩道拡張工事が開始されますが、これは大きな交通安全対策になると確信しています。ただ、この工事区画間（磯松中学校前交差点から箕越第4踏切まで）に、最も人通りも多く交通量もある、箕越第4踏切から八本松駅間の約400mが入っておりません。危ない箇所を優先して取り組むべきだと思います。本市のご認識を伺います。			
		イ また、箕越第4踏切からJR八本松駅間の約400mに、車道も狭く離合が難しい箇所もあり、危険なので拡張して欲しいと地元から強い要望があります。道路の拡張も交通安全対策として必須だと認識しております。本市のご認識を伺います。					
		2					東広島市における小・中学生の自殺防止について
							(1) 東広島市における小・中学生の自殺防止について 全国的に小・中学生の自殺については、頻繁に報道されているなか、本市の小・中学生の自殺防止策について伺います。
							ア 本市では、「東広島市自殺対策計画」を2019年に策定され、真摯に取り組んでいただいているところです。つきましては、2019年からの年代別自殺者数と原因が解れば教えてください。また、特に小・中学生について自殺者数とその原因が解れば教えてください。
イ これらのデータは、東広島市のホームページを検索しても見つからなかったのですが、非公開情報ですか。データは、問題を把握するために必要だと思いますが、本市の見解を伺います。							
ウ 8月より市内の全中学校にて「こころの授業」が始まりました。子どもから悩みや苦しい気持ちを発信できる仕組みづくりがその中心になっていると聞きました。本市医療保健課、養護教諭、心のサポーター等と共に学校でチームとして当るというお話も担当課から聞かせて頂きました。また、学校の目が届かない土日、帰宅後は地域の方にも見守り、声掛けをお願いしたいという事でした。入り口として、取り組みやすく即効性のある施策であると期待しております。 そのうえで、今後、長期的に続けていくこと、ノウハウを継続的に積み上げていく手段として、人員の充実・人材の向上（専門機関による研修・資格試験への助成等）を目指してゆくべきと考えます。 この点につきまして本市の見解を伺います。							

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間			
		項目	細目	詳細					
4	重森佳代子	1	市役所第2庁舎建設計画について	(1) 人口減少社会における公共施設の在り方について 本年5月、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、50年後の日本の人口は中位推計で約4,000万人減少して8,700万人とされ、高齢化率は28.6%から38.7%に上昇する見込みである（高位推計では9,500万人、低位推計では8,000万人）。一方、当市の長期人口ビジョンの基本推計によれば、人口は2年後にピークに達し、2065年（42年後）までには約3万人減少すると予測されている。ただし、目標推計としてはほぼ現状維持を目指している。	市長 長 副市長 教育長 担当部局長	35分			
				ア			人口減少・少子高齢化社会においては、公共施設を最小限にし、維持管理コストの削減を検討すべきではないか。また、災害や社会的要因などの予測困難な出来事を考慮すると、新たな公共施設の建設については最も慎重な検討が必要である。所見を問う。		
				イ			本市の公共施設に関する総合管理計画の進捗状況を問う。老朽化した施設の改修や更新、インフラの補修・整備など、市民の生活に密接に関わる事業を優先すべきではないか問う。		
				ウ			将来の人口減少を見据えた業務の効率化やデジタル変革による行政の最適化、行政スペースの削減などについて、どのようなシミュレーションを行っているか問う。これらの長期的な計画について問う。		
				エ			過渡期にあるDX化や人口減少の動向、海外リスク、物価高騰など、不安定な社会情勢の中で、財政運営を慎重に進めるべきではないか。これらの要因を考慮した堅実な財政運営について問う。		
				オ			第2庁舎において整備する機能について、どのようなニーズ調査を行い、有識者会議で十分に検討するなどのプロセスを経て計画を進めているのか問う。		
				カ			跡地で継続されている社会実験の結果、駐車場の利用状況についてどのような検討を行っているのか問う。また、今後中心市街地における駐車場の計画をどのように進める予定か問う。		
				キ			子育て支援センターの整備において、市民の意見を適切に反映させた計画か。また、子ども・子育て会議や専門家の意見を考慮した検討、子育て支援に携わっている関係者とのヒアリングなどを実施しているのか問う。		
				ク			整備計画の乳幼児健診室について、現在の利用状況は、1日あたり4時間、1カ月に8日間、延べ32時間、1日あたり30～40人が利用し、1人当たりの所要時間は1.5～2時間程度である。出生数の減少が見込まれている状況を考慮して、このままの整備計画で適切であるかどうか必要性を問う。		
				2			給食のない夏休みの支援施策について	(1) 夏休み明けの健康チェックについて ある大手製薬会社の「夏休みの子どもの食生活意識調査」によると、小学生の子どもを持つ親の約6割が、夏休み中の子どもの食生活について不安を抱えているという結果となっている。食事の準備の負担、栄養バランス、食事のコストが主な理由とされる。特に困窮した家庭では、子どもの健康が危惧される。	
								ア	本市において、夏休み明けの子どもの健康や生活習慣について、どのような調査や対応を行っているのか問う。
								(2) 夏休みの食の支援事業について 各地域で子ども食堂が開設され、食事の提供だけでなく、子どもの居場所やコミュニケーションの場としての役割を担っている。このように子どもを社会で育てる「子育ての社会化」の機運が広がっている。しかしながら、運営費やスタッフの確保、持続可能性など、さまざまな課題が見受けられる。夏休みにおいても、子ども食堂の果たす役割は重要であるが、月に1～2回の開催であるため、健康面においては十分とは言えない。	
								ア	本市において、本年2月に開設した「フードバンク東広島」の利用状況や普及啓発活動に関して問う。また、フードバンクをより身近にするために水平展開が可能かどうか問う。
		イ	夏休み中に給食が提供されない期間において、経済的負担の軽減のため、フードバンクやNPO法人などによって、子どもを持つ世帯を対象にした食料配布の仕組みを導入できるかどうか問う。						
		ウ	本市の学校給食費に関して、令和4年度では就学援助対象者等約1,800名（認定率13.1%）に対して年間約8,000万円が支援されている。経済的に困窮している世帯に対して、長期休暇中の子どもの栄養バランスを保つため、1カ月分の給食費相当分の食品提供や弁当の配食などの取り組みはできないか問う。						

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和5年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間
		項目	細目	詳細		
5	岡田 育三	1	半導体関連産業の集積に向けた支援策の拡充	(1) 半導体関連産業の集積に向けた取り組みについて 国ではグローバルサプライチェーンの中核となる事を目指し、半導体産業の集積を始め、国内投資の拡大や研究開発、人材育成への取り組みが示されており、本市においても様々な組織と連携体制を構築し、大規模投資の促進や半導体産業の集積に向けた取り組みを進めている。	市副市長 市教育担当 市長長 市育長 長	35分
				ア 本市の半導体産業の集積に向けて、目指す方向性やあるべき姿としてどのようなイメージを持たれているのか見解を伺う。		
				イ 半導体産業の集積に向けた支援について、その課題として上下水道の整備、ビジネスコストの低減に資する支援、従業員の住環境の整備などが考えられるが、国や県など関係機関に対し、どのような内容の要望を行っているのか伺う。		
				ウ 現在、本市において諸課題に取り組んでおられる連携先は、どのような組織があり、それぞれどのような内容を協議されているのか伺う。		
				エ 本市での取り組みの一つに半導体フォーラム等、情報交換の場づくりに取り組んでいるが、その内容や参加者数、手ごたえなど見解を伺う。		
				オ 半導体メモリ開発、製造企業の投資に伴い必要となる高度人材の確保に向け、具体的にどのような方法があるのか、本市の認識と課題についての見解を伺う。		
				2		
		ア スポーツ施設の整備における廃校施設の聖地化、既存施設の特徴化や廃校体育館の聖地化について本年度の進捗状況と課題点についての見解を伺う。				
		イ スポーツ施設の改修などについて利用者のニーズや時代の流れや要請などを考慮した方向性などがあるのか見解を伺う。				
		ウ 現在、本市に対して、スポーツ施設等の新設、整備など要望されている団体等はどれ位あるのか、把握されている範囲で認識を伺う。またその実現性についての見解を伺う。				
		エ 県内の廿日市市の高校では存続危機の対策として女子硬式野球部を作られた結果、部員数も増え地域をあげて盛り上がっている。本市でもこういったスポーツを通して過疎対策、施設の存続等に活用するなどの考えはあるのか見解を伺う。				
		オ 本市において、かつて競技人口が多く、あるいは盛んであった競技の中で、指導者等の充実を図ることでその競技が復活され、本市での大会の開催が期待できるような競技はあるのか見解を伺う。				
		3	本市の農業振興	(1) 本市における農地の維持について 全国的に農業の衰退が進行し、本市においても農業従事者の高齢化が進んでおり、農地の荒廃による農村環境の悪化を懸念する。	市副市長 市教育担当 市長長 市育長 長	
		ア 農業農村を支える担い手の育成支援策としてグループ営農団体の農作業省力化・共同利用支援事業に取り組まれているが、これまでの実績と今年度の進捗状況について伺う。				
		イ 農地の荒廃につながる所有者不明農地について、本市で把握されている面積はどの位あるのか伺う。また増加傾向にあるのか伺う。				
		ウ 政府は来年4月から宅地・農地を含むすべての土地の相続登記を義務付け、違反者には10万円以下の過料も発生すると聞く。 優良農地維持の観点から、市としてどのような指導または動きを想定されているのか見解を伺う。				